

## 第48回国際原子力機関（IAEA）総会出席及び要人会談について

平成16年9月28日  
内閣府原子力担当

茂木科学技術政策担当大臣が、9月20日（月）からオーストリア共和国ウィーンで開催された第48回国際原子力機関（IAEA）総会に政府代表として出席し、政府代表演説を行い、また同日、米国及びロシアの代表並びにIAEA事務局長と個別会談を行った。

### 1．出席者

茂木敏充 科学技術政策担当大臣を政府代表とし、以下、高須幸雄在ウィーン国際機関日本政府代表部 特命全権大使、内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省の担当者が参加。また、近藤原子力委員会委員長、早田原子力安全委員が代表顧問として参画。

### 2．結果概要

#### (1)政府代表演説（別添）

- ・核不拡散体制の強化と原子力の平和的利用の双方の側面の重要性
  - ・北朝鮮、イラン等の地域問題
  - ・核セキュリティに関する問題
  - ・美浜原子力発電所の事故と安全対策の問題
- 等について我が国の考えを述べた。

#### (2)要人会談

エルバラダイ IAEA 事務局長との会談

- ・北朝鮮の核問題について、平和的、外交的手段で解決するためには六者会合において問題の解決を図っていくべきとの意見で一致した。また事務局長より、適切なタイミングでIAEAも検証の面で協力する用意がある旨の発言があった。
- ・韓国でのウラン濃縮・プルトニウム抽出問題について、我が国としては、韓国がIAEAと協力し、過去の懸念される事案が解明されることを願うと述べたところ、事務局長よりIAEAが発見するのではなく、韓国が全ての情報を明らかにすることが基本であり、IAEAとしては11月理事会までに韓国での査察結果を報告できるようにしたい旨返答があった。

- ・イランの未申告の原子力活動問題について、我が国としては、今後ともイランが累次の理事会決議の要求事項を履行するよう働きかけたいので、連携したい旨述べたところ、事務局長より、イランに対しては濃縮関連活動を中止し信頼醸成を図って欲しいと伝えている旨返答があった。
- ・我が国より日本に対して統合保障措置が適用されたことは極めて重要であると述べたところ、事務局長より、唯一の被ばく国である日本の核不拡散に対して今後ともより積極的な貢献への期待が述べられた。
- ・我が国よりＩＡＥＡの日本人スタッフの増強を求めたところ、事務局長より、今後とも協力したい旨返答があった。

#### 米国 エイブラハム エネルギー省長官との会談

- ・ＩＴＥＲ計画について、我が国より誘致問題の早期解決を図ることが必要であり、このためにも引き続き６者での協議を重ね、六ヶ所村へのＩＴＥＲ誘致を実現したいので今後とも協力願いたい旨述べたところ、長官より、日本を支持するポジションは変わらない、６者協力の枠組みが大切と認識している旨返答があった。
- ・北朝鮮の核問題について、六者会合の早期開催が必要との認識で一致した。
- ・イランの問題について、我が国より理事会決議で明確にメッセージを出したことを評価する旨述べたところ、長官より、リビアのような好例もあることから、引き続き協力して問題の解決に取り組んでいきたい旨の発言があった。
- ・我が国より米国の原子力政策の方向について確認したところ、長官より、地球温暖化の問題、天然ガス価格が上がることなどにより、米国においても原子力の重要性への認識が高まっている。国民の理解を得て原子力開発が進めば、新しい炉型の原子炉や新しい燃料サイクルへの取組みも、必要になってくるとの発言があった。

#### ロシア ルミャンツェフ連邦原子力局長官との会談

- ・韓国の問題について、韓国が可能な限り全てを明らかにし、ＩＡＥＡにおいて話し合うことが必要であることで意見が一致した。
- ・ＩＴＥＲ計画について、我が国より６者協力の枠組みを維持しつつ、解決に向けて努力していくことが今後の国際協力にとって極

めて重要と述べたところ、長官から、ロシアとしては、両サイトとも良いサイトであり、日本とフランスを中心に、6者の枠組みの中で一層協議を続けていくことが重要であり、早期の解決を望む旨返答があった。

- ・ イランの問題について、我が国より先週の理事会でイランにはっきりしたメッセージを送ったことを評価するとともに、今後のイランの対応が重要であると述べたところ、長官より、ロシアは、イランとの話し合いを通じて、イランの説得を続けており、日本や他のI A E A加盟国とともにイランへの説得を続けていきたいとの発言があった。

国際原子力機関第 48 回総会  
茂木敏充政府代表（科学技術政策担当大臣）演説

**1．序及び総論**

議長、

日本政府を代表して、閣下が国際原子力機関第 48 回通常総会の議長に選出されたことを心からお祝い申し上げます。貴議長の豊富な国際的経験と卓越した指導力によって、本総会が実り多きものとなることを確信しております。また、チャド共和国、トーゴ共和国及びモーリタニア・イスラム共和国が新たに加盟国となったことを心から歓迎します。

議長、事務局長、ご列席の皆様、

北朝鮮等の核問題が深刻化し、核拡散の地下ネットワークの存在が明らかになるなど、現在、国際的な核不拡散体制は重大な挑戦に直面しております。そこで、不拡散体制の強化は、国際社会が緊急に取り組むべき最重要課題の一つになっています。同時に、原子力は、供給安定性に優れ、地球温暖化の防止にも寄与する貴重なエネルギー源として、その重要性を増しています。医療や農・工業分野を含む原子力の平和的利用は、国際社会の経済的・社会的発展にとって極めて有益であることは言うまでもありません。従って、核不拡散体制の強化と原子力の平和的利用の両面を司る IAEA の役割は、益々その重要性を増していると考えます。

**2．核不拡散体制の強化**

議長、

核不拡散体制の強化は、我が国の外交の最重要課題の一つです。来年 2005 年は、我が国にとって被爆 60 周年に当たり、また 5 年に一度の NPT 運用検討会議がニューヨークで開催される節目の年ですが、国際社会が核軍縮・不拡散へのコミットメントを新たにし、核軍縮を始めとする一層の軍縮の達成に向けた努力が払われることを強く期待します。我が国は、唯一の被爆国として、「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」との非核三原則を堅持し、決して核兵器を保有することはないことを改めて申し上げます。

現行の核不拡散体制の「抜け穴」を塞ぎ、不拡散体制を強化することは、国際社会全体の責務です。不拡散に関するブッシュ米大統領の提案やエルバラダイ事務局長の国際核管理構想は、濃縮及び再処理を始めとする機微な技術等の拡散を防止する必要性に根差すものと考え、我が国はこの問題意識を十分に共有するものです。しかし、このような構想を議論する際には、原子力の平和的利用の現実とこれに対する人々の希望への配慮も充分なされるべきと考えます。

議長、

核不拡散体制の積極的な強化のためには、I A E A 保障措置を強化することが鍵であると考えます。我が国は、そのための最も現実的かつ効果的な方途として、追加議定書普遍化のための努力を継続しています。しかしながら、追加議定書の発効国は現在 60 カ国であり、満足できる水準に達しているとは言えません。私は、追加議定書未締結の加盟国に対して、早期の締結を呼びかけます。

先週の 15 日、我が国において統合保障措置の適用が開始されました。我が国のような大規模な原子力活動を行う国において統合保障措置が適用されるのは初めてのことであり、他国に範を示す意味でも大きな成果と考えています。我が国は、限られた資源を有効に活用するとの観点から、保障措置の一層の効率化が図られることについても重視しており、統合保障措置の適用は、その観点からも有益と考えます。

### 3．北朝鮮、イラン、リビアの核問題等

議長、

北朝鮮の核計画は、北東アジア地域の平和と安全を脅かすものであり、かつ、国際的な核不拡散体制への重大な挑戦です。我が国は、北朝鮮が、N P T を含む関連する全ての国際約束を遵守するとともに、信頼のおける国際的な検証の下、全ての核計画を完全に廃棄することを強く求めます。私は、この問題が六者会合のプロセスを通じて平和的に解決されることが不可欠であると考えており、第 4 回会合が早急に開催されることが重要です。

また、イランについて、I A E A がイランの未申告活動を察知してから約 2 年が経過しているにも関わらず、依然として未解明の問題が残っていることに

懸念を表明します。我が国は、2 国間外相会談や軍縮・不拡散協議の機会を捉え、イラン政府に対し、国際社会の懸念を払拭するため、追加議定書を早期に批准するとともに、ウラン濃縮関連・再処理活動の停止を含む累次の I A E A 理事会決議の全ての要求事項を誠実に履行することを強く求めてきました。イランの核問題を早期に解決するためには、イラン自身が透明性を高めることが不可欠です。改めてこの機会に、イランに対し、今般先週の理事会で採択された決議を含む累次の I A E A 理事会決議の全ての要求事項の誠実な履行を求めるものであります。

我が国は、リビアが核を含む大量破壊兵器計画の廃棄を決定し、国際社会との協力を進めていることを評価します。他の核拡散懸念国がリビアの例に倣い、I A E A と完全に協力することを強く期待します。

韓国については、我が国は、韓国がこれまで透明性をもって IAEA と協力してきたと理解しており、かかる姿勢を評価しています。同時に、我が国は、NPT・IAEA 体制の信頼性の維持の観点から、本件事案に重大な関心を有しており、事務局長による「本件は深刻な懸念すべき問題である」との報告に注目しています。韓国が、これらの過去の懸念される案件の解明に向け、透明性を確保しつつ、引き続き、IAEA と十分に協力していくことを期待します。我が国は、本件問題の早期解決が重要と考えます。

#### 4．核セキュリティ対策

議長、

9．11 事件を契機として核テロリズムの危険性が指摘されるようになった今日、国際社会は、団結して適切な核セキュリティ対策をとることが求められています。この観点から、我が国は、核セキュリティ基金（NSF）を始めとする I A E A の取り組みを評価しており、また、核物質防護条約改正案審議のための会議の早期開催を期待しております。米国が提唱した地球的規模脅威削減イニシアチブ（G T R I）については、我が国としてもその進展に留意しており、先に開催されたパートナー会合で発出された報告を踏まえ、引き続き適切な形で協力していきたいと考えます。

#### 5．原子力の平和的利用

議長、

原子力の平和的利用の分野における I A E A の役割は非常に大きなものがあります。特に、I A E A が発展途上国に対して行っている技術協力は、医療や農・工業の分野における放射線の利用促進の観点からも重要です。我が国は技術協力基金への拠出を 100% 実施しており、各加盟国においても、遅滞なく完全に拠出が行われることを強く希望します。一方で、被援助国側も相応の責任を果たすことを期待します。

我が国は、原子力発電を基幹電源と位置付け、原子力発電の特性を一層改善するために、核燃料サイクルの確立を積極的に推進しています。現在、従来以上に幅広い各層から議論への参画を求め、原子力政策について国民の理解増進を目指した新たな「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」を策定中です。

原子力の将来を展望した活動も重要です。核融合エネルギーの実現に向けた I T E R 計画については、建設地問題が 6 カ国の合意によって解決されることを期待します。我々としては引き続き青森県六ヶ所村への誘致を目指したく、本件が国際的パートナーシップの下で計画が推進されることが何よりも重要であると考えます。

#### 6．美浜事故・原子力安全

先月、我が国の原子力発電所において、蒸気噴出事故が発生しました。この事故は放射性物質の放出を伴うものではありませんでしたが、作業員の方々に死傷者を出す大変痛ましい事故となりました。我が国は、安全性確保の重要性を再確認し、事故の再発を防ぐべく、安全性の一層の向上のために最大限努力する決意です。また、我が国は、原子力安全に関する国際協力を重視し、I A E A のこれまでの取り組みを高く評価するとともに、今後とも積極的に貢献していく考えです。

#### 7．放射性物質の輸送

議長、

原子力の平和的利用のためには、放射性物質の円滑な輸送が不可欠です。特に、放射性物質の国際輸送は、国際法上確立した「航行の自由」の権利に基づいた活動です。その実施に当たっては、関連国際機関が定めた国際基準に従って、最大限慎重な措置が講じられています。また、

本年、我が国は、I A E A事務局に対してT r a n S A S実施の要請を行ったことを御報告致します。

#### 8 . I A E A財政・人事

I A E Aがその期待される役割を果たすためには、十分な財政的裏付けが必要です。そのため、我が国は、保障措置予算の増額を含む来年度の通常予算を支持しました。他方、事業の優先順位設定と経費削減によって予算の一層効率的な運用を図るよう、I A E A事務局の引き続いての努力を求めたいと思います。

#### 9 . 結語

議長、

最後に、我が国がI A E Aがその重要な使命を達成するよう積極的に支援していくことを確約し、私の演説を終わります。

ご静聴ありがとうございました。

(了)